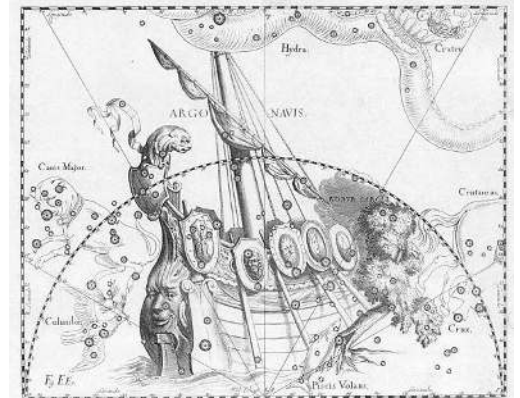
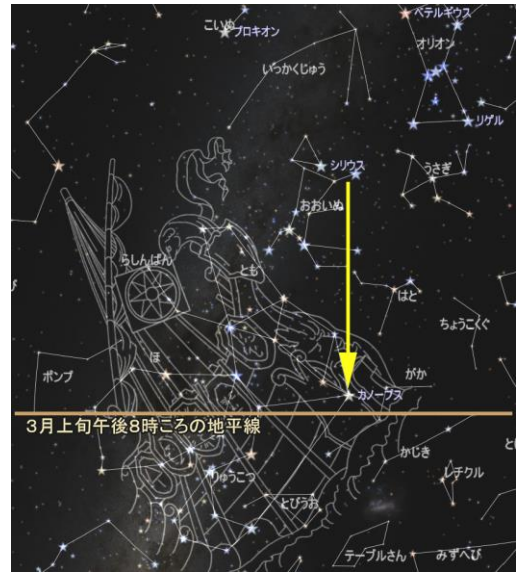


# ジオスペース館だより

## ★ 今月の星もよう ★

まだまだ冬の星座がよく見えていますが、オリオン座が南西に傾いて、北斗七星が北東の空に見つけやすくなると、いよいよ春が近づいて来たことを感じます。南の空、おおいぬ座のシリウスがちょうど南中する頃、そのずっと下の地平線ギリギリのところを見ると、よく晴れていれば「カノーパス」という星が見られます。この星は、シリウスに次いで全天で2番目に明るい星なのですが、高度が低く、雲がかかりやすいなど、日本では見ることが難しく、見えた方はかなり幸運といえるでしょう。

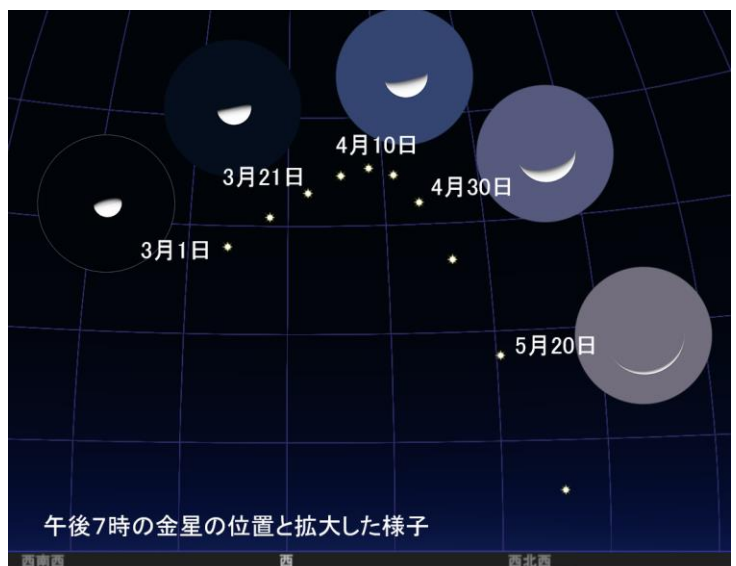
カノーパスは、りゅうこつ座の $\alpha$ 星ですが「竜骨」とは船の底の部材のことです。実は、この星座は、かつてアルゴ船座という帆船の形の星座の一部だったのですが、あまりにも大きすぎるという理由で3つの星座（りゅうこつ座、とも座、ほ座）に分割されました。「とも」というのは船の後ろの部分のことで、お隣の「らしんばん座」と併せて、全て船に関する星座です。日本の緯度からは、残念ながら星座絵の船の部分はあまり見えません。



ヘヴェリウスの描いたアルゴ船座  
この星座は分割されたので、現在は存在しません。

## ★ 金星の満ち欠けを観察するチャンス！ ★

夕方、西の空高く、とても明るい金星（宵の明星）が見えていますが、3月25日が太陽から最も離れて見える東方最大離角となります。望遠鏡で見ると、この時期、金星は丸くは見えずラグビーボールのような形に見えます。これからさらに形が大きく変化し、細長く三日月のようになっていきます。望遠鏡が無くても、精度の高い双眼鏡なら、形が見えるようになります。また、目の良い人には、他の星（光る小さな点）とは、少し見え方が違うのがわかるかもしれません。3月27～29日には月が近くに見えますので、本物の三日月と大きさや輝きを比べてみてください。

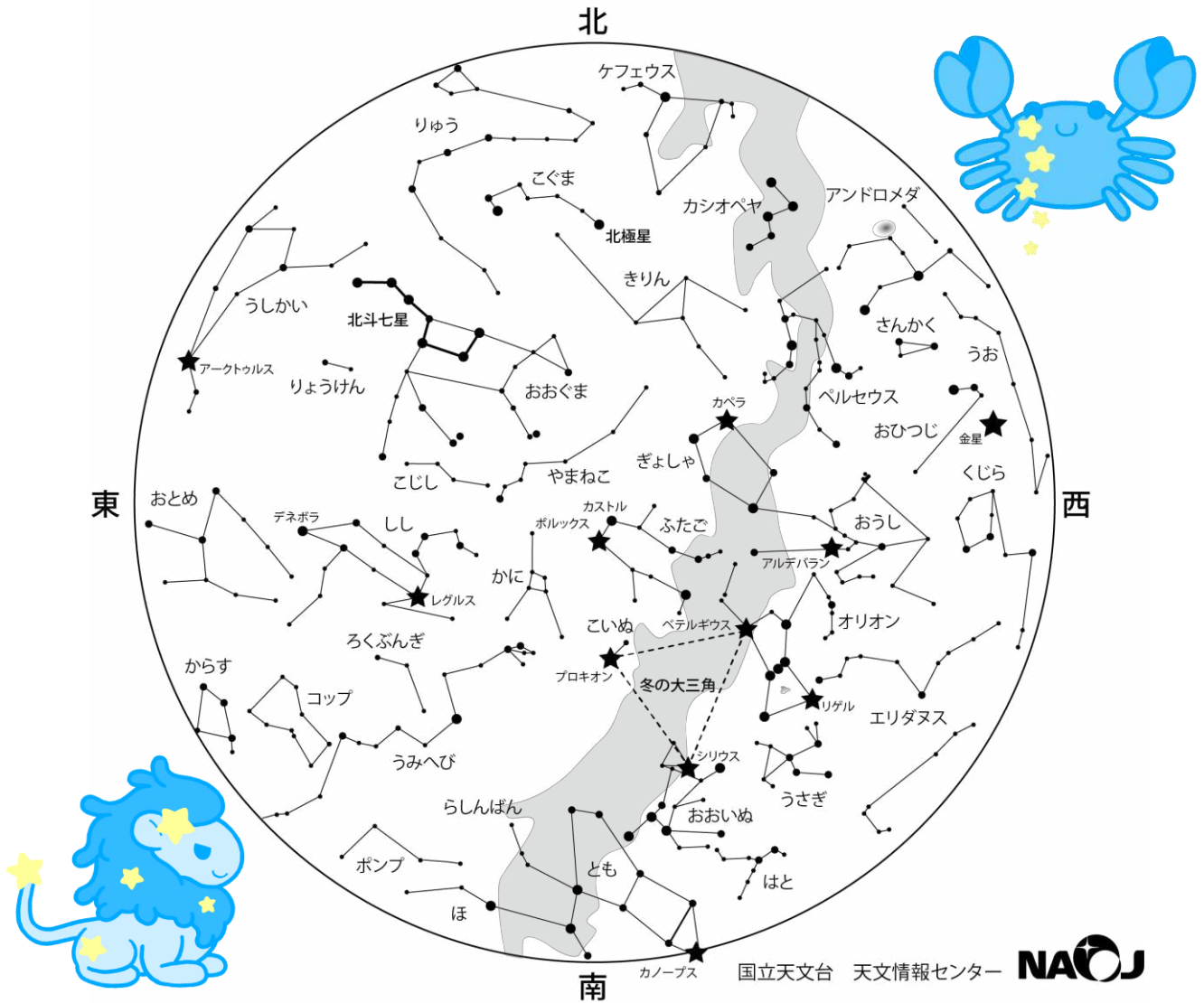


星図はステラナビゲーター11を使用して作成したものを元に作成

## ☆☆ 3月のプラネタリウムのご案内 ☆☆

1月～3月は機器更新工事のため、プラネタリウムの投影はありません。 豊川市ジオスペース館☆☆

# 3月上旬午後9時頃の星空



## ★ 3月上旬の主な天文現象

2日(月) ヒアデス星団を月が通過 おうし座 $\epsilon$ 星の食	5日(木) 啓蟄
3日(火) 上弦	9日(月) 金星と天王星が接近
	10日(火) 満月

## ★ 宇宙ステーション(豊川での主なデータ 3/1~15) ※ 下記時刻は、予想値です

◇ 3月11日(水) [見やすさ ◎]	5:37 北西	~	5:44 東南東
◇ 3月12日(木) [見やすさ ◎]	4:50 北北西	~	4:56 東
◇ 3月14日(土) [見やすさ ◎]	4:52 北西	~	4:57 南東
◇ 3月15日(日) [見やすさ ○]	4:07 東	~	4:09 東南東

豆知識：国際宇宙ステーション (ISS) は、明るい星が動いているように見えます。  
飛行機のような赤緑ランプの点滅はありません。